

「自治会福祉連絡会の 活性化を！」

森本 都規夫 副会長
(波賀町谷)



住民自らが進んで活動に参加し、福祉活動を協議する場として自治会毎に福祉連絡会が設置されています。小地域福祉活動を推進するためにも、福祉連絡会の活性化が必要になります。自治会毎の実態に合った取組み、喫茶やサロンを含め、皆さんと社協が一体になっての推進にご協力をお願いします。

「支え合い社会へ」

水谷 雄 理事
(山崎町加生)



新春おめでとうございます。支え合い社会や地域や家族とのつながりが希薄になったと感じる昨今、社協理事としての自分の役割を熟と考へ、社協制度の包括的利用を進め、高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる実態になるよう、頑張りたい。

「共に支え合う 地域づくりをめざして」

梶本 みゆき 理事
(山崎町庄能北)



昨年は東日本大震災等、災害が多くありましたが、災害はいつ、どこで起こるかわかりません。身近な人と人が住み慣れた地域で支え合い、助け合って共に生活できればいいですね。

そのために、私たち一人ひとりが地域社会の一員として、どう支え合えばいいのか、考えることが大切だと思います。

2011年は、東日本大震災や台風12号災害などを通じ、人と人、人と地域のつながりの大切さをあらためて感じた一年でした。今あるつながりを大切にしながら、地域福祉をさらに推進するため、社協がどう取り組むのか。新しい年のスタートにあたり、15名の理事からのメッセージをお届けします。

「地域に福祉力を！」

枋尾 多喜子 理事
(二宮町福野)



少子高齢化や無縁社会の問題は、他人事ではなく、確実に私たちの身近に迫っています。地域のみんなが、積極的に社協活動に参加し、子育て支援や高齢者・障がい者支援をし、地域の結びつきや支え合いの心を再構築し、地域の福祉力を高めましょう。

「喜びは巡りあわせ」

植田 美代子 理事
(波賀町野尻)



昨年の共同募金のお願いにお伺いをさせていただいた時の思い……。

「募金をさせていただくことがうれしい」と話して下さったその「心」を思う時、人それぞれ思いは違っても、人の喜びは自分の喜びであり、喜びは巡りあわせである。

地域全体が心ひとつにして、日々の生活に感謝したいです。

「第2次地域福祉推進計画が スタートしました！」

平岡 千恵子 理事
(山崎町高下)



小地域福祉活動の定着化は、無縁社会から縁社会のキーとなっています。

また、限界集落化しつつある集落では、行政のバックアップによりNPO法人と組んで、都市との交流も進んでいます。

職員は、忙しいとは言わず、繁盛していますと言っ、笑顔でプロとして対応してくださるよう、期待しています。

「介護予防に心がけましょう」

花本 孝 理事
(六栗市健康福祉部次長)



私たちの体は、使わないと衰え、きちんと食事をとらないことでも状態が悪くなります。適度な運動や規則正しい食事が介護予防につながります。生きがいを感じ、住み慣れた地域で暮らしていくために、自分自身で予防していくことが大切です。

自治会のふれあい喫茶に参加して交じり合う子どもたちの声と高齢者の笑い声、各世代がかかわり合う場を共有する時、幸福度も上がります。福祉委員が見守り、安否確認訓練等で助け合える安心を得ます。人や社会とのつながりを感じ合える機会を大切に、皆で考え参加していきたいです。